

sample

第1問 次の問1～問5に答えなさい。

問1 次の①、②の——部と同じ漢字を用いるものをそれぞれ選びなさい。

No. 1

① 多くの援助に対しシン謝する。

- ア シン剣勝負を挑む。
- イ 仕事の打シンを受ける。
- ウ シン海生物を研究する。
- エ 何事もシン重に構える。
- オ シン士の振る舞いを見る。

② 議論を聞いてなるほどと首コウする。

- ア コウ水から身を守る。
- イ 平コウ感覚を維持する。
- ウ チームの勝利にコウ献する。
- エ 友人からの依頼をコウ諾する。
- オ 側コウに落ち葉がたまっている。

No. 2

問2 次の中から、「概観」と同じ構成の熟語を選びなさい。

No. 3

ア 遷都 イ 急行 ウ 気絶 エ 慶弔 オ 彫刻

問3 次の文の——部の単語の中から、「助動詞」を選びなさい。

No. 4

私 は サッカー部 に 所属し て い ます 。

- ア 私
- イ は
- ウ 所属し
- エ て
- オ ます

問4 次に示した言葉に関する説明として、正しくないものを選びなさい。

No. 5

- ア 「号泣」とは、大声を上げて泣くこと。
- イ 「雨模様」とは、雨の降りそうな空の様子のこと。
- ウ 「破天荒」とは、誰もしなかったことをすること。
- エ 「涼しい顔」とは、大変な状況でも平気そうにすること。
- オ 「割愛する」とは、惜しく思うものを思いきって手放したり省略したりすること。

問5 次の中から、「具体」の対義語を選びなさい。

No. 6

ア 手段 イ 抽象 ウ 情報 エ 特徴 オ 目的

第3問 次は、中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「国語編」の「第1章 総説」の「2 国語科の改訂の趣旨及び要点」の一部です。後の問1、問2に答えなさい。

(2) 学習内容の改善・充実

〔知識及び技能〕と〔思考力、判断力、表現力等〕の各指導事項について、育成を目指す資質・能力が明確になるよう内容を改善した。

(略)

④我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

中央教育審議会答申においては、「引き続き、我が国の言語文化に親しみ、愛情を持って享受し、その担い手として言語文化を継承・発展させる態度を小・中・高等学校を通じて育成するため、伝統文化に関する学習を重視することが必要である。」とされている。

これを踏まえ、「伝統的な言語文化」、「1」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理し、その内容の改善を図った。

(3) 学習の系統性の重視

(略)

(4) 授業改善のための言語活動の創意工夫

(略)

(5) 2 指導の改善・充実

問1 空欄1に当てはまるものを選びなさい。

No.9

- ア 言葉の由来や変化
- イ 言葉の抑揚や強弱
- ウ 言葉の意味や働き
- エ 言葉の響きやリズム
- オ 言葉の特徴やきまり

問2 空欄2に当てはまるものを選びなさい。

No.10

- ア 読書
- イ 音声
- ウ 漢字
- エ 語彙
- オ 文法

第5問 中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「国語編」における〔思考力、判断力、表現力等〕の内容について、次の問1～問4に答えなさい。

問1 「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「話題の設定、情報の収集、内容の検討」の説明として、正しくないものを選びなさい。 No.14

ア 目的や場面に応じて話題を決め、話したり聞いたり話し合ったりするための材料を収集・整理し、伝え合う内容を検討することを示している。

イ 「話すこと」、「聞くこと」、「話し合うこと」に共通し、また、その他の指導事項と密接に関わるものである。

ウ 第1学年では、「目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること」を示している。

エ 第2学年では、「目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること」を示している。

オ 第3学年では、「目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討すること」を示している。

問2 「B 書くこと」の学習過程の一部として正しいものを選びなさい。 No.15

ア 文や文章

イ 表現、共有

ウ 構造と内容の把握

エ 考えの形成、記述

オ 話し言葉と書き言葉

問3 「B 書くこと」の言語活動例の説明として、正しいものを選びなさい。 No.16

ア 各学年には、主として論理的な文章、主として実用的な文章、主として文学的な文章を書く言語活動を例示している。

イ 各学年の言語活動は、これらの全てを行わなければならないが、例示であるため、これ以外の言語活動を取り上げることも考えられる。

ウ 第1学年では、本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動を例示している。

エ 第2学年では、詩を創作したり随筆を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書く活動を例示している。

オ 第3学年では、社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動を例示している。